

## 関西大学グリークラブ OB 会 EAST 合唱団【練習報告】(全 3 ページ) 記載 : 辻本 (41 期)

【日時】2018 年 8 月 4 日 (土) 13:30~17:00

【場所】 神田さくら館 5 階音楽室神田さくら館 <https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

【参加】T1 : 1 名 T2 : 2 名 B1 : 2 名 B2 : 4 名

【内容】

### ① No body knows the trouble I've seen(Spirituels 編曲 : B.Anderson):指揮 大山先輩

★音取りと歌詞つけを復習し、曲想をつけていきました。

・参考音源 [https://m.youtube.com/watch?v=SVKKRzemX\\_w](https://m.youtube.com/watch?v=SVKKRzemX_w)(ルイ・アームストロング)

・変更点 : B2 4 小節目 1 拍目を現在の F から 3 音上の B $\flat$ に変更。20 小節目 1 拍目も同様。

・テンポに関しては全体的にはフリーテンポな感じで歌います。以下の点を共有をお願いします。

1) 6 小節目 : 3 拍目のフェルマータに向かって少し rit をかけていきます。T1 の半音進行を聞きましよう。22 小節目も同様

2) 8 小節目 : 4 拍目『sometimes~』から 10 小節目フェルマータにかけてはテンポがやや早くなります。

3) 12 小節目 : 4 拍目~14 小節目にかけても同様です。

4) 12 小節目 : 2 拍目の T1 が二分音符に入って少しフェルマータをかけ、4 拍目からもとのテンポに戻してください。

4) 16 小節目 : 4 拍目から T2 メロディが自由な感じで入ってきますので、他のパートはそれを聞いて 17 小節目のオブリガード (U) に移ってください。

5) 23 小節目 : 4 拍目『-le』で少しフェルマータをかけます。その後ブレスをとって、最後の小節にはいってください。

・ダイナミクスに関しては、以下の点の共有をお願いします。

1) 8 小節目 4 拍目~10 小節目、12 小節目 4 拍目~14 小節目にかけてはテンポが早くなるのと同時に音量を ff で。

2) 23 小節目:この小節の間 ff を維持し、最後の小節に入ってからディミネンドしていき、最後のフェルマータで p に。

### ② Dear Heart (H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞) : 指揮 大山先輩

★久しぶりになりましたので、全体を通して曲想の確認と、60 小節からの和音の変化を再度確認しました。

・基本的に 4 小節で 1 フレーズで、1 小節目~2 小節目に大きくしていき、3 小節目から 4 小節目に小さくしていく大きなクレ

ッシェンドでクレッシェンドのおおきな松葉が、1~4、9~13、25~28、33~36 の各小節のフレーズに感じて歌い、その他の

小節との対比をつくってください。そしてそれぞれのフレーズの小節ごとの和音が B $\flat$  ➡ B $\flat$ 7 ➡ B $\flat$ 7 ➡ E $\flat$ と変化していきますので、各小節の立ち上がりの音符は揃えてしっかり音をならしたいところです。

### ③ Limu Limu Lima(スウェーデン古歌 S.Soderberg 編曲)

★最初に 76 小節目から最後まで音取りと歌詞つけを行い、その後 34~75 小節までのリズムと音取りを行い、歌詞は 30 小節目までと同じですので、最後に 30 小節から通しました。

★参考音源 <https://m.youtube.com/watch?v=2OiK3Ryxx3U>

・76 小節からの読みは基本ローマ字であるのと、O の上のウムラウト (・・) がつくとドイツ語読みと同じで o の口の形をして e(エ) を発音します。ですので Over (O はウムラウト) は『えーヴェル』と読む感じです。また g はザ行ではなくガ行になりますので、『bergena』は『ベルゲナ』と読みます。さらに a の上に小さな○が書いてある文字は『オ』と読みますので、『bla (a の上に小さな○)』は『ブロー』となります。同様に 80 小節の『go (o の上に小さな○)』は『ゴー』となります。

- ・83 小節目の『n』もしくは『Nnn』と書いている音符はハニングのように口を開いた『n』（舌先を上顎の歯の裏あたりにつける）で伸ばします。またベース系はそのまま『n』で伸ばした後最後に最後の小節で『a』になりますので、『アー』ではなく『ナー』で終わります
- ・86～87 小節目にかけてのテナー系の『ma』に変わるタイミングは楽譜通り、T1 上と T2 下が 86 小節で変わってください。
- ・30～33 小節が二分音符 = 54 に対して 34～73 小節は付点四分音符 = 54 となりますので、同じ拍子で中に 8 分音符 2 つ感じるのと 3 つ感じるのとの違いになります。（アタックの練習で s の子音で 2 つ入れたり 3 つ入れたりしましたね）
- ・全体的に荘厳な小さな祈りから始まり、火が大きくなって信仰心がテンションアップしていくとそこにワルツのような独特のリズムが生まれてくる様子を描写しています。

### ③ロマンチストの豚（やなせたかし 作詩 木下牧子 作曲）

★16～19 小節にかけての『ラララ』あたりの音取りの確認と、24 小節の譜割を確認し、最後に 3 番を通しました

★参考音源 <https://m.youtube.com/watch?v=Nc2LPTxNd0Y>

・17 小節の全部のパートの音を同時に重ねると Adim（A の上に短 3 度の C さらにその短 3 度上の E ♭を重ねる）、さらに 18 小節は B ♭のコードになります。それを分解して音符にしていますね。その点を感じれば自分の落着ポイントがわかると思います。これはまた今後練習をすすめていきますね。

#### 【次回練習日】

2018 年 8 月 22 日(水)

18:30～20:30 神田さくら館 5 階音楽室神田さくら館

※辻本は出張のため欠席となります。申し訳ございません。

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

【楽譜】一応下記のもの全て用意だけお願いします。

- ①Regina Coeli（グレゴリオ聖歌）
- ②さくら（松下耕編曲）
- ③Listen to the Lambs（Spirituals より）
- ④Ave Regina coelorum（V.misukinis 作曲）
- ⑤Memory（ミュージカル Cats より）
- ⑥Dear Heart（H.Mancini 作曲 J.Livingston 作詞）
- ⑦Joy To The World（F.Hendel 作曲）
- ⑧Sydameni Laulu（J.Sibelius 作曲）
- ⑨ No body knows the trouble I've seen(Spirituals)
- ⑩ Limu Limu Lima(スウェーデン古歌 S.Soderberg 編曲)
- ⑪ ロマンチストの豚（木下牧子作曲）

【上記以後の練習日程予定】

国立オリンピックセンターアクセス：<https://nyc.niye.go.jp/category/access/>

神田さくら館アクセス：<https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/annai/022.html>

2018年9月 5日(水)18:30～20:30 :さくら館

2018年9月 15日(土)18:00～20:30 :さくら館

2018年9月 22日(土)13:30～17:00 :オリセン 31

2018年9月 29日(土)18:00～20:30 :オリセン 35

2018年10月 13日(土)13:30～17:00

2018年10月 20日(土)18:00～20:30

2018年10月 24日(水)18:30～20:30

以上です。